

第38期

中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日

株式会社 **テ-オ-シー**



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は平成15年9月30日をもちまして第38期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに中間事業報告書をお届けいたします。

平成15年12月

代表取締役社長 **大谷卓男**

CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業の概況	2
部門別営業の概況	3
営業成績の推移	5
株式事項	6
中間貸借対照表	7
中間損益計算書	8
営業の概況(連結)	9
中間連結貸借対照表	10
中間連結損益計算書/中間連結剰余金計算書の要旨	11
中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	12
会社の概況/役員	13

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、国際情勢の不透明感、雇用・所得の不安による個人消費の低迷、引き続きデフレ現象等による不況の長期化が懸念されましたが、米国・アジアの景気回復の兆し、大手銀行の不良債権処理の進展等が好感されての株式市況の好転などにより、景況感に改善が見られ、大企業におきましては、大幅な業績の回復が顕著な状況になりましたが、多くの中小企業を含めた全体的な景気回復には、未だ厳しい環境が続くものと思われまます。

当ビル業界におきましては、以上のような景況感の中、大規模プロジェクトの竣工が相次いだことにより、東京都心を中心にオフィスビルの供給過剰が顕在化する厳しい事業環境下にあります。

このような状況下、当社におきましては、所有ビル個々の特性の向上と時代のニーズに対応するためのリニューアル、美化対策、安全管理対策等を恒常的に実施し、ビルの付加価値を高めることに注力してまいりましたが、当中間期の売上高は69億3千6百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面におきましては、業務の効率化に努め、営業利益は27億5千万円（前年同期比3.6%増）、経常利益は26億8千8百万円（前年同期比0.3%増）、中間純利益は15億7千万円（前年同期比7.5%増）となりました。

次に各部門の売上状況についてご報告申し上げます。

不動産事業部門の「建物の賃貸等」では、ビルの特性に応じたきめ細かいテナント募集活動を行い、入居率は、96.8%（前年同期比0.5%増）となり、売上は前年同期比0.4%増の54億8千4百万円となりました。

「展示場・会議室の賃貸」では、新規顧客の開拓に努めましたが、既存顧客の事業見直しなどの影響により、前年同期比10.2%減の4億4千4百万円となりました。

「駐車場の賃貸」では、企業の経費削減等の影響により、前年同期比2.8%減の3億5千5百万円となりました。

製菓事業部門の売上は、取引先を取り巻く厳しい事業環境のもと、前年同期比19.0%減の1億7百万円となりました。

商品販売部門の売上は、一部店舗の見直しと個人消費低迷の影響により、前年同期比14.1%減の5億4千4百万円となりました。

以上の業績を踏まえ、当期の中間配当金につきましては、前年同期

と同額の1株につき5円50銭とさせていただきます。

ビル業界におきましては、大型ビルの供給は一巡したものの、企業の経費削減、デフレ現象の継続など引き続き厳しい事業環境は続くものと思われまます。

このような厳しい業界環境の中、推進中の開発プロジェクトにおきましては、既存所有施設との融合を踏まえ、当社がこれまで培ってきた独自のノウハウとブランド力を最大限に活用した事業の展開を予定しております。東京都から取得した「有明南L M 2・3区画」（敷地面積18,088.47㎡）につきましては、本年5月に国土交通省から都市再生特別措置法に基づく「民間都市再生事業」の認定を受けました。同計画地におきましては、流通卸売り機能を中心とした、より多くの企業に活気あふれるビジネスの場を提供することのできる“21世紀型TOCビル”の建設を計画し、平成15年度着工を予定しております。「みなとみらい21-28街区」（敷地面積6,611.00㎡）におきましては、桜木町駅前という優れた立地に対し、浅草ROXで一般消費者等エンドユーザーの多様なニーズに対応する商業ビル運営のノウハウを最大限に活用し、多くのお客様のご支持を得るべく、シネマコンプレックス（複合映画館）、ホテル等を兼ね備えた複合商業施設の建設を計画し、平成16年度着工を予定しております。また、「東京都八重洲北口」（仮称「丸の内1-1計画」）につきましては、保有資産の見直しと経営資源の集中化を図るため、本年9月に売却いたしました。

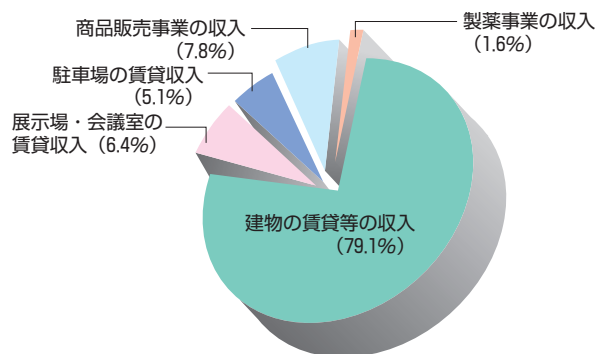
当社におきましては、間近に着工を控えた「有明南L M 2・3区画」更に「みなとみらい21-28街区」での新規事業の早期実現に注力するとともに、既存所有施設における“高サービス・低コスト”へ向けた各種施策を引き続き推進し、キャッシュ・フロー及び資本効率に重点をおいた諸施策を実施し、事業環境の変化に即応した経営体制の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部門別営業の概況

■当中間期売上高の部門別割合

●建物の賃貸等の収入	5,484百万円
●展示場・会議室の賃貸収入	444百万円
●駐車場の賃貸収入	355百万円
●商品販売事業の収入	544百万円
●製菓事業の収入	107百万円



不動産事業部門

テーオーシーは、「社会に役立つ企業」という基本理念に基づき、明るい未来を予見することのできる「街づくり」に積極的に取り組んでおります。日々訪れる人々、ご利用いただくテナントの皆様にご「明るく、活力のある、和やかな」場を提供できるよう、ビル事業を推進しております。

また、当社は所有するビル・施設の特性をさらに活かすための様々な施策を実行するとともに、混沌とした社会情勢の中にあっても、訪れる多くのお客様に安心してご利用いただけるよう、快く、かつ安心感のある空間を提供するため、建物内外の安全管理の徹底になお一層努めております。

■TOCビル（写真奥）

東京都品川区西五反田 7-22-17
昭和45年2月竣工 174,013.32m²（延床面積）

■第2TOCビル

東京都品川区西五反田 7-21-11
昭和51年9月竣工 12,741.02m²（延床面積）

■第3TOCビル

東京都品川区西五反田 7-23-1
昭和46年1月竣工（昭和57年6月改修）
7,979.56m²（延床面積）

■TOCフロントビル（写真手前）

東京都品川区西五反田 7-22-17
昭和58年1月竣工 4,428.79m²（延床面積）

■第5TOCビル

東京都品川区西五反田 7-21-1
昭和62年8月竣工 4,456.90m²（延床面積）



TOCビル

活気あるビジネスの場を提供し続けているTOCビルは、ファッション、インテリア、生活雑貨などの多様な「商品と情報」が集まる多機能施設として、商業活動をサポートしています。変動の激しい商業シーンで、入居するテナントの皆様とともに、お越しになる多くのお客様に喜んでいただけるマーケットづくりに取り組み、さらに活力ある商業施設を目指しています。

■TOC展示場・会議室

- グランドホール
TOCビル13F 5,236.72m²
- 特別ホール(写真)
TOCビル13F 1,149.89m²
- 小展示場
TOCビルB1F 422.11m²
- 会議室(全8室)
TOCビルB1F、13F 519.17m²



■オフィス棟(写真左手前)

東京都品川区大崎1-6-1
昭和62年1月竣工
27,592.87m²(延床面積)

■ホテル棟(写真左奥)

東京都品川区大崎1-6-2
昭和62年1月竣工
21,262.56m²(延床面積)



大崎ニューシティ

副都心開発事業の先駆けとしてオープンした大崎ニューシティは、当社の所有するオフィス棟、ホテル棟をはじめとして、現在、利便性の高いビジネスゾーンとしてご利用いただいております。近年、大崎・品川地区の再開発が活発に行われるとともに、「りんかい線」の全線開通、新幹線品川駅の開業などにより、都内の重要拠点として、さらにその価値が高まっています。

浅草ROX

東京浅草の再開発をテーマに大型ファッションビルとしてオープンした浅草ROXは、地域とともに成長し続けています。ショッピングゾーンにはじまり、スポーツクラブ、フットサルコート、温浴施設、アミューズメント施設など、伝統ある地域社会の中で、新たな息吹を次々と生み出すことで、様々な楽しさと健やかな生活を提案し、浅草地域内外の多くのお客様に親しまれています。

また、長年お客様にご愛顧いただきましたROX-2につきましては、より活気あふれる商業施設として生まれ変わるべく、平成16年8月のリニューアルオープンを目指し工事を進めております。

■ROX(写真)

東京都台東区浅草1-25-15
昭和61年8月竣工 36,498.84m²(延床面積)

■ROX-2*(仮称)

東京都台東区1-24-1
1,445.36m²(延床面積)
平成16年8月リニューアルオープン(予定)

■ROX-3

東京都台東区浅草1-26-5
平成7年8月竣工 3,449.50m²(延床面積)

■ROXドーム

東京都台東区浅草1-27-8
平成10年7月竣工 1,293.76m²(延床面積)



製薬事業部門

製薬事業部門では、長年培った実績と最新の技術の融合により、人が本来持っている自然治癒力をより活性化させる医薬品・健康食品づくりを基本としております。

主力商品である「ホシ隈笹エキス」は、クマザサを原料に当社独自の製法・技法により、澄明な部分だけを抽出して、丹念に作り上げた多糖体エキスです。自然の恵みをそのままに、皆様に健康をお届けできますよう努めてまいります。

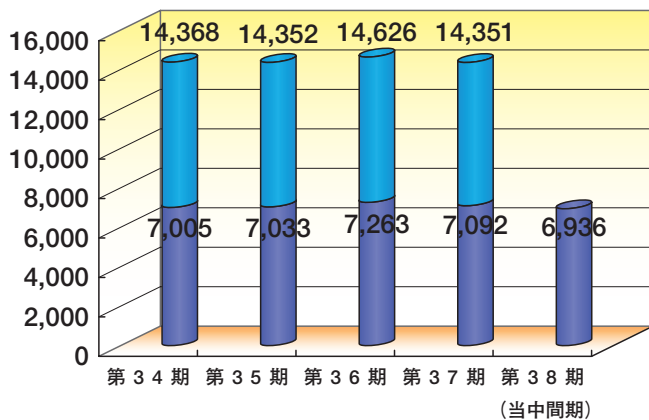
なお、当社製薬事業部(従来の製造部門)は、平成15年10月1日をもって、当社連結子会社である星製薬株式会社(従来の販売部門)に統合され、新生「星製薬株式会社」としてスタートすることとなりました。



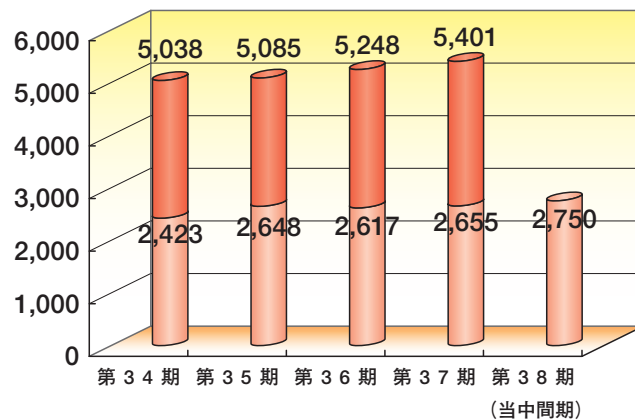
くまざさ 多糖体健康食品
ホシ隈笹エキス

営業成績の推移

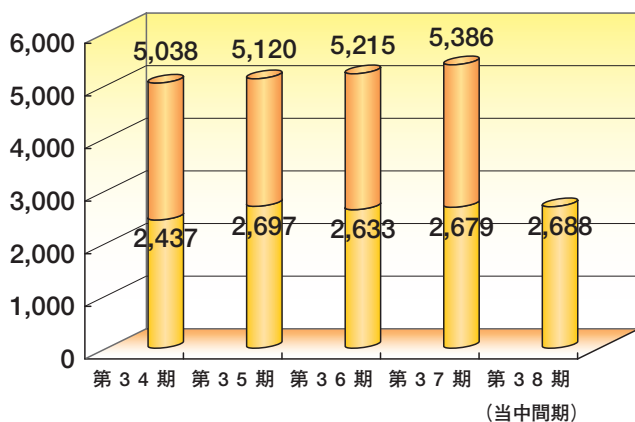
売上高 (単位：百万円)



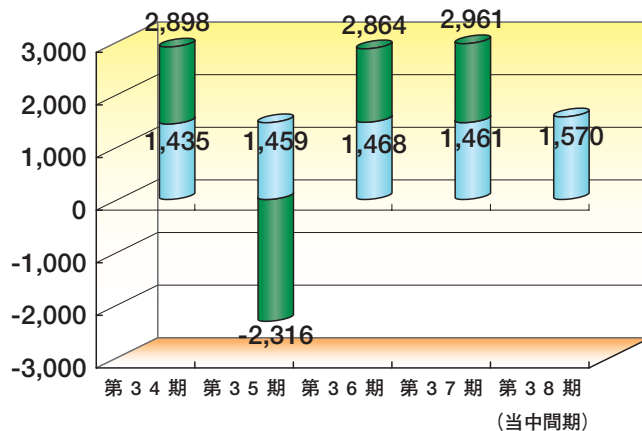
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



中間(当期)純損益 (単位：百万円)



(注) 第35期につきましては、土地等の強制評価減による評価損等により、92億8千8百万円の特別損失を計上したため、23億1千6百万円の当期純損失となりました。

株 式 事 項

(平成15年9月30日現在)

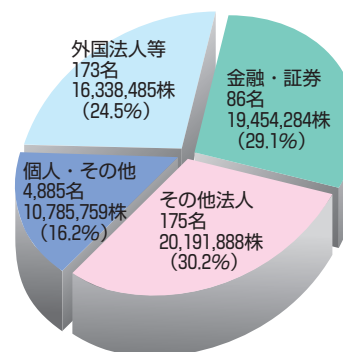
■発行する株式の総数 271,217,000株

■株式の所有者別状況

■発行済株式総数 66,770,416株

■株主総数 5,319名
(前期末比180名減)

■株主1人当たり平均持株数 12,553株



■大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
	千株	%	千株	%
株式会社ニューオータニ	8,395	13.00	527	7.63
有限会社大谷興産	6,422	9.94	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,179	6.47	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,336	5.16	—	—
有限会社オオタニファンド	3,135	4.85	—	—
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	2,512	3.89	—	—
株式会社新生銀行	2,103	3.25	—	—
大谷正子	1,830	2.83	—	—
日本生命保険相互会社	1,816	2.81	—	—
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,623	2.51	—	—

中間貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成14年9月30日現在)	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)
[資産の部]			
流動資産	9,716	19,823	16,444
現金及び預金	7,611	14,991	11,199
受取手形	3	—	3
売掛金	91	68	106
営業未収入金	430	500	444
有価証券	870	20	20
たな卸資産	75	99	68
前払費用	74	99	74
繰延税金資産	136	3,779	3,935
その他	440	269	611
貸倒引当金	△ 19	△ 4	△ 19
固定資産	66,523	70,275	70,585
(有形固定資産)	(45,809)	(52,415)	(45,224)
建物	15,819	14,738	15,259
土地	29,436	37,096	29,450
建設仮勘定	56	148	56
その他	497	432	457
(無形固定資産)	(7,033)	(7,023)	(14,883)
借地権	6,966	6,966	14,821
施設利用権	51	47	50
ソフトウェア	14	9	11
(投資その他の資産)	(13,680)	(10,836)	(10,478)
投資有価証券	4,817	3,725	3,395
関係会社株式	1,779	1,945	1,945
繰延税金資産	3,908	153	156
その他	3,279	5,070	5,024
貸倒引当金	△ 103	△ 58	△ 44
資産合計	76,240	90,099	87,030

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成14年9月30日現在)	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)
[負債の部]			
流動負債	12,034	12,483	12,892
買掛金	82	106	83
短期借入金	8,500	8,500	8,500
1年以内に返済 予定の長期借入金	120	992	669
未払金	264	242	375
未払消費税等	107	102	139
未払法人税等	1,039	990	1,142
未払費用	135	140	130
前受金	798	771	716
預り金	598	575	670
賞与引当金	63	61	57
その他	324	—	407
固定負債	11,441	22,533	20,271
長期借入金	1,750	12,694	10,540
預り保証金	9,520	9,400	9,521
金利スワップ負債	—	227	—
退職給付引当金	51	70	80
役員退職慰労引当金	119	140	130
負債合計	23,476	35,016	33,164
[資本の部]			
資本金	11,768	11,768	11,768
資本剰余金			
資本準備金	9,326	9,326	9,326
その他資本剰余金	—	0	—
資本剰余金合計	9,326	9,326	9,326
利益剰余金			
利益準備金	2,942	2,942	2,942
任意積立金	24,917	24,917	24,917
中間(当期)未処分利益	4,525	6,858	5,665
利益剰余金合計	32,385	34,718	33,525
その他有価証券評価差額金	27	45	16
自己株式	△ 744	△ 777	△ 771
資本合計	52,763	55,082	53,865
負債及び資本合計	76,240	90,099	87,030

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	前中間期	当中間期	前期
2. 子会社に対する短期金銭債権	99百万円	183百万円	156百万円
子会社に対する長期金銭債権	77百万円	67百万円	53百万円
子会社に対する短期金銭債務	78百万円	77百万円	94百万円
子会社に対する長期金銭債務	182百万円	182百万円	182百万円

	前中間期	当中間期	前期
3. 有形固定資産の減価償却累計額	33,050百万円	34,242百万円	33,693百万円
4. 担保に供している資産	5,916百万円	5,474百万円	5,678百万円
5. 自己株式の数	1,331,365株	1,392,979株	1,383,109株

中間損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売上高		7,092	6,936	14,351
売上原価		3,688	3,417	7,352
売上総利益		3,403	3,518	6,998
販売費及び一般管理費		748	768	1,597
営業利益		2,655	2,750	5,401
営業外収益		112	91	157
営業外費用		87	153	172
経常利益		2,679	2,688	5,386
特別利益		—	293	—
特別損失		155	269	252
税引前中間(当期)純利益		2,524	2,712	5,133
法人税、住民税及び事業税		1,058	1,003	2,205
法人税等調整額		4	138	△ 33
中間(当期)純利益		1,461	1,570	2,961
前期繰越利益		3,063	5,287	3,063
中間配当額		—	—	359
中間(当期)未処分利益		4,525	6,858	5,665

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	前中間期	当中間期	前期
2. 子会社との取引高			
売上高	539百万円	516百万円	1,093百万円
仕入高	157百万円	135百万円	329百万円
営業取引以外の取引高	0百万円	56百万円	48百万円
3. 1株当たりの中間(当期)純利益	22円09銭	24円03銭	44円74銭

営業の概況(連結)

当社グループは、わが国経済に景況感の改善がみられるものの、未だ先行きの見通しにおいて不透明感が続く中、グループの特徴を最大限に活用した営業活動と連結グループ挙げての業績管理の強化に取り組んでまいりました。製薬事業部門におきましては、多様化する顧客のニーズに対応する優れた製品の研究・開発の推進と、急速に変化する事業環境に対応するための迅速かつ効率的な経営を目指す目的で、当社の製薬事業部（製造部門）と連結子会社である星製薬株式会社（販売部門）を、平成15年10月1日をもって事業統合し、新生「星製薬株式会社」としてスタートすることとなりました。

当社グループの当中間期における連結業績は、売上高は88億3千5百万円（前年同期比3.9%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は27億7千1百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は26億9千万円（前年同期比1.9%減）、中間純利益は15億4千7百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

セグメント別の業績におきましては、「不動産事業」の売上高は58億7千5百万円（前年同期比0.7%減）となりましたが、営業利益は27億6千4百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

「リネンサプライ及びランドリー事業」では、主としてホテル業を顧客とするため、SARSの影響と景気の低迷が重なる、厳しい事業環境下にあり、売上高は9億7千9百万円（前年同期比5.4%減）となりましたが、営業利益は業務の見直し等により、3千4百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

「その他の事業」のうち、製薬事業では、前期より実施している製品ラインナップの再構築の過渡期にあったため、減収となりました。スポーツクラブ事業は引き続き堅調に推移いたしました。温浴施設事業は、SARS等の影響により利用者数が減少し、減収となりました。ビル管理関連サービス事業は内装請負工事の減少により、減収となりましたが、環境保全・省エネルギー事業は、営業強化に努めたことから増収となりました。

以上の結果、「その他の事業」の合計での売上高は19億7千9百万円（前年同期比11.4%減）、営業損失3千万円（前年同期営業利益1億8百万円）となりました。

当社グループは、「社会に役立つ企業」という企業理念に基づき、「明るく、活力のある、和やかな」場を創造することを企業の使命とし、日々訪れるお客様、ご利用いただくテナントの皆様にご満足いただけるよう事業を推進しております。また、当社を取り巻く環境と時代との対話をもとに、グループ全体の業績向上を図り、事業の発展を通して社会に貢献できるよう努めてまいります。

■セグメント別売上高

(単位：百万円)

	前 中 間 期	当 中 間 期	前 期
	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
不 動 産 事 業	5,919	5,875	12,000
リネンサプライ及びランドリー事業	1,035	979	2,060
そ の 他 の 事 業	2,234	1,979	4,490
合 計	9,189	8,835	18,551

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成14年9月30日現在)	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)
[資産の部]			
流動資産	12,129	22,108	18,936
現金及び預金	8,807	16,166	12,520
受取手形及び 営業未収入金	876	892	926
有価証券	1,251	400	400
たな卸資産	538	581	508
繰延税金資産	142	3,784	3,942
その他	534	288	660
貸倒引当金	△ 21	△ 6	△ 22
固定資産	66,042	69,883	70,137
(有形固定資産)	(46,629)	(53,280)	(46,031)
建物及び構築物	16,386	15,282	15,807
土地	29,655	37,368	29,669
建設仮勘定	56	148	56
その他	531	480	498
(無形固定資産)	(7,053)	(7,055)	(14,908)
借地権	6,966	6,966	14,821
その他	87	88	87
(投資その他の資産)	(12,359)	(9,547)	(9,197)
投資有価証券	5,177	4,295	3,965
繰延税金資産	3,917	149	159
その他	3,300	5,101	5,071
貸倒引当金	△ 35	—	—
資産合計	78,172	91,991	89,074

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成14年9月30日現在)	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前期末 (平成15年3月31日現在)
[負債の部]			
流動負債	12,858	13,322	13,835
買掛金等	868	699	1,104
短期借入金	8,700	8,920	8,700
一年以内に返済 予定の長期借入金	120	992	669
未払法人税等	1,094	1,025	1,203
賞与引当金	103	97	93
その他	1,972	1,588	2,064
固定負債	11,706	22,762	20,521
長期借入金	1,750	12,694	10,540
預り保証金	9,706	9,541	9,687
金利スワップ負債	—	227	—
退職給付引当金	130	158	163
役員退職慰労引当金	119	140	130
負債合計	24,565	36,085	34,356
[少数株主持分]			
少数株主持分	347	310	314
[資本の部]			
資本金	11,768	11,768	11,768
資本剰余金	9,326	9,326	9,326
利益剰余金	32,882	35,233	34,063
その他有価証券 評価差額	27	45	16
自己株式	△ 745	△ 778	△ 772
資本合計	53,259	55,595	54,402
負債・少数株主持分 及び資本合計	78,172	91,991	89,074

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売上高		9,189	8,835	18,551
売上原価		5,282	4,870	10,541
売上総利益		3,907	3,964	8,009
販売費及び一般管理費		1,175	1,192	2,456
営業利益		2,731	2,771	5,553
営業外収益		101	80	158
営業外費用		91	161	188
経常利益		2,741	2,690	5,523
特別利益		—	293	—
特別損失		140	256	245
税金等調整前中間(当期)純利益		2,601	2,727	5,277
法人税、住民税及び事業税		1,114	1,037	2,316
法人税等調整額		16	147	△ 17
少数株主損失		8	4	40
中間(当期)純利益		1,477	1,547	3,018

中間連結剰余金計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高			9,326	
資本準備金期首残高		9,326		9,326
資本剰余金増加高				
自己株式処分差益		—	0	—
資本剰余金中間期末(期末)残高		9,326	9,326	9,326
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高			34,063	
連結剰余金期首残高		31,793		31,793
利益剰余金増加高		1,477	1,547	3,018
中間(当期)純利益		1,477	1,547	3,018
利益剰余金減少高		388	377	748
配当金		366	359	725
役員賞与		22	18	22
利益剰余金中間期末(期末)残高		32,882	35,233	34,063

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	前 中 間 期		当 中 間 期	
	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,150	1,479	4,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 652	△ 160	△ 9,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		324	2,328	9,276
現金及び現金同等物の増減額		1,822	3,647	4,689
現金及び現金同等物の期首残高		8,152	12,842	8,152
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		9,975	16,490	12,842

会社の概況

(平成15年9月30日現在)

商号：	株式会社テーオーシー (TOC CO.,Ltd.)		
事務所所在地：	本社 東京都品川区西五反田七丁目22番17号 工場 厚木市 (神奈川県)		
資本金：	117億6,819万1,630円		
発行済株式数：	6,677万4,166株		
主な事業内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●オフィス、ショッピングビル、流通関連ビル等の経営 ●ビル、土地ならびに住宅施設等の分譲・販売 ●催事場等の経営 ●スポーツクラブ・健康ランド等の経営 ●ファッション・グッズ関連店舗ならびにレストラン等の経営 ●医薬品、健康食品等の製造・販売 ●リネンサプライ、クリーニング業の経営 ●ベンチャー企業の育成ならびに企業への投資 ●上記事業に関連するIT事業の企画・開発・運営 		
従業員数：	80名		
連結子会社：	●株式会社テーオーリネンサプライ	設立年月日	昭和58年3月18日
		資本金	4億8,000万円
		事業内容	リネンサプライおよびランドリー事業
	●株式会社テーオーシーサプライ	設立年月日	昭和45年4月8日
		資本金	2億8,317万円
		事業内容	ビル管理関連サービス事業
	●株式会社ROXヘルスプラザ	設立年月日	昭和60年4月3日
		資本金	4億円
		事業内容	スポーツクラブ事業
	●株式会社TOL	設立年月日	平成12年11月1日
		資本金	4億8,000万円
		事業内容	温泉施設・温浴施設の経営
	●星製菓株式会社	設立年月日	昭和57年3月3日
		資本金	7,500万円
		事業内容	医薬品および健康食品の販売
	●株式会社東京卸売りセンター流通グループ	設立年月日	昭和57年7月22日
		資本金	1,500万円
		事業内容	商品販売、飲食事業
	●株式会社アニマ・アクティス・ジャパン	設立年月日	平成10年6月19日
		資本金	1億円
		事業内容	環境保全および省エネルギー事業
	※なお、株式会社アニマ・アクティス・ジャパンは、平成15年10月15日をもって、株式会社アニマ・ジャパンに商号変更いたしました。		
非連結子会社：	●株式会社I-TINK	設立年月日	平成12年11月15日
		資本金	2億9,000万円
		事業内容	情報処理関連事業
持分法適用会社：	●大崎再開発ビル株式会社	設立年月日	昭和58年5月6日
		資本金	2億円
		事業内容	建物賃貸・ビル管理業務委託事業等

役員

(平成15年12月現在)

代表取締役会長	大谷和彦	取締役	河村修
代表取締役社長	大谷卓男	取締役	岩井和夫
取締役	池田嵩	常勤監査役	甲田浩
取締役	羽廣元和	監査役	松嶋泰
取締役	松崎良典	監査役	長沢勝利
取締役	大橋正夫		

M E M O



株式会社 **テ-オ-シー**

〒141-0031 東京都品川区西五反田七丁目22番17号 Tel.03 (3494) 2111 (代)

URL:<http://www.toc.co.jp/toc/ir/index.html>

株主メモ

決 算 期	毎年3月末日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
配 当 金	毎年3月末日の株主名簿（実質株主名簿を含む。以下同じ）に記載された株主（実質株主を含む。以下同じ）または登録質権者にお支払いいたします。
中 間 配 当 金	取締役会の決議により9月末日最終の株主名簿に記載された株主または登録質権者にお支払いいたします。
株 式 名 義 書 換 停 止 期 間	(1) 4月1日から4月30日まで (2) 中間配当を行う場合その他必要ある場合はあらかじめ公告して停止いたします。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
名 義 書 換 代 理 人	貸借対照表および損益計算書は上記ホームページに掲載しております。 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 東京 03 (5683) 5111
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社全国本支店
株主に対する特典	年1回、3月末日現在の1,000株以上を所有する株主に対し、次の商品あるいは施設利用券を贈呈（選択制）いたします。 (1) 自社商品および関連会社の取扱う健康食品 (2) 「浅草ROXまつり湯」の特別ご招待券 2枚
